

# 令和4年度事業計画

## 1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

令和2年初頭から流行した新型コロナウイルスの影響は現在でも続いており、行動制限や経済的な影響が深刻化しています。しかし、ワクチン接種や薬の開発が進んできており、少しずつコロナの終焉に近づいているのではないかと期待をしている所です。

さて、私たちの協会は、昨年令和3年が創立60周年でした。本部主催の記念事業は延期が続きましたが、年度末には開催の予定です。各支部での記念公演は着々と進んでおり、全国支部を挙げてイベントに取り組んで参りました。オンライン化が進んだ事で、支部間の連携が良くなり、コミュニケーションも活発化してきております。

この流れを止めず、本年度も「情報発信と情報共有の強化」を進めていきたいと思っております。現在、本部ウェブサイトのリニューアルが進んでおり、SNSとの連携を計りながら、有意義な情報が皆様のところへ届きやすい状況をつくっていきたくと考えています。

本年度も、日本空間デザイン賞の開催、プロダクトオブザイヤー開催とJAPAN SHOPでの展示、ツキイチの継続、SODA、女子会、JCD サイクル、海外交流などなど、様々な活動が開催されておりますが、どれも魅力のある事業となっており、これらを益々発展させていきたいと思っております。

また今後は、JCDの更なる魅力づくりを進める為に、新しい仕組みや組織の形について検討を進め、次世代JCDの姿を描いていきたいと考えております。皆様には改めて提案や相談をさせて頂くことになると思いますが、ご協力のほどお願い致します。

## 2. 主要事業計画の概要

### (1) 事業部（部長：小坂 竜）

（副理事長：永井資久）

#### \*副理事長としての事業計画

- ・会員増強
- ・他団体との協働  
空間デザイン機構・DSA・JID・JIDA・AIA・IDM等
- ・行政及びメディアとの関係性構築

（経済産業省・国交省・日経新聞社グループ・アクシス・商店建築社・各大使館等）

#### \*事業部長の補佐としての事業計画（担当：小坂事業部部長）

- ・各委員会への協力支援
- \*他団体との協働によるJCDの認知度及び地位向上
  - ・日本空間デザイン賞への参加及び開催協力
  - ・空間デザイン機構への参加
  - ・IDMへの参加及びイベント開催協力
  - ・スカイデザインアワードへの後援協力

(委員長会議議長：大滝道晴)

- 8事業が、更なる活性化及び充実した組織を計るために、内部組織だけにとどまらず外部組織・外部企業等との接点をもち、存在感のある組織づくりの活動を目指す。
- 社会・経済及び生活の変化に対応し、また次世代を見据えながら委員会そのものの意識改革を行う視点をもつ。
- 委員会の構成メンバーの検討。  
(正会員の新しい人材発掘、賛助企業の人材勧誘等)  
\* 新年度になり、各委員会の基本活動方針、及び構成メンバーを検討していただくために、アンケートを実施予定です。

① デザイン賞委員会 (委員長：笠原英里子)

令和3年度後半よりアワード推進本部の体制を刷新し、各部会の委員長に委員会の運営を任せ、各委員が自主的に活動していく組織にする。アワード推進本部はオブザーバー的役割とする。三役会議においては最終の確認と承認を取る機関とする。

日本空間デザイン賞 2022 はコロナ前の日程に戻し事業を進めていく。

以下はあくまでも仮の日程

- 2022年1月令和4年度日本空間デザイン賞委員会キックオフミーティング
- 2022年4月1日～5月16日公募期間
- 5月29日一次審査員への審査方法説明 (リモート)
- 6月1日～8日ネット1次審査  
(審査員Aグループ30名、Bグループ30名、Cグループ30名、合計90名)  
専門性を強めた審査員構成とする
- 6月11日一次審査後事前チェック
- 6月15日一次審査調整会議 Long List を決定。
- 6月20日～27日ネット2次審査  
(審査員Aグループ8名、Bグループ10名、Cグループ10名、理事9名、合計34名)
- 6月30日二次審査事前チェック
- 7月7日二次審査調整会議 Short List を決定。
- 7月8日～27日 Short List 受賞者のA2ボード2枚製作期間
- 8月27日(土) 三次・最終審査 11ジャンル各々に金賞、銀賞、銅賞を選出  
場所は五反田東京デザインセンター、ライブ配信を行う。同日、非公開で金賞11作品からKUKAN OF THE YEAR 1～3作品を選出。発表は後日贈賞式において行う。
- 10月21日(金) 贈賞式及び懇親会 場所は未定
- 本年度は iF デザイン賞 (ドイツ) との双方の連携、特典の設定を推し進めていく。その他にも海外との連携を強化してゆく。
- 受賞者は年鑑に掲載予定
- GOOD DESIGN MARUNOUCHI において KUKAN DESIGN AWARD 2022 展を開催  
トークイベント、懇親会を計画
- 2022年度も日本空間デザイン賞オンラインセミナーを数回開催予定

② Soda 委員会 (委員長：新藤 力)

令和4年度も Soda 委員会にとっては不自由な状況が続くと予想されます。学校も対応が分かれています、まだまだ慎重です。私たちもこの2年間、工夫をしながらなんとかワークショップを継続して実施することができました。今年も要請があれば出来る限り応えていきたいと思えます。状況を見ながらになりますが、また少しずつワークショップを再開できればと考えています。

③ シンポジウム委員会（委員長：飯島直樹）

2022年度は以下を委員会の活動予定とする。

1. 10月ごろのシンポジウム SECTION 63 のリアル開催を予定。SECTION のネクストステージとなるべく、数年後までを含めた視点を作り込みたい。協賛企業との連携も検討する。
2. タカハシツキイチ 31 以降の実施。広報委員会から引き継ぎ、可能な限りリアルで開催。JCD 発信番組のようなストーリー性のある「トーク番組」としたい。毎月負担が大きく隔月開催とする。
3. 以上のトークシーンを録画・編集し、JCD 発信プログラムとしてアーカイブ化を図る。(HP への掲載、SHOKANKYO への接続)。この技術面はアウトソーシングとしたい。SNS での「ニュース」や「レポート」など番組化を推進したい。

④ 広報委員会（委員長：水谷晶人）

- 1) 新しい形のJCD公式パンフレットの発行。
- 2) JCD60周年事業との連動活動の実施。
- 3) JCDウェブサイト第2フェーズへの進行
- 4) JCDウェブサイト←→SNS←→紙媒体 の強化を図る。
- 6) 東京デザインセンター発信と連動出来る広報活動の実施。
- 7) JCD公式「Instagram」の新たな活用の導入。

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度は、またもやコロナ禍による不透明な海外との関係性が続きそうであるが、オンラインによる理事会など日々の活動は増えていくと思われまますので、出席する窪田理事長と JID の理事長でもある丹羽理事にも負担がかかる事になりますが、よろしく願いいたします。

また前年度に続き JCD から、各国のデザインアワードの審査に対する出席等の依頼も続くと考えられます。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

1. プロダクト・オブ・ザ・イヤー2022

令和3年同様に一次審査（予選）、二次審査（本選）で開催し二次審査はリアル+Web 配信で実施。4月末からエントリーを開始、秋口に結果発表、表彰式は賀詞交換会などの場で検討していく。月1回の賛助委員会に加え、分科会にて二次審査の会場なども含め詳細を詰めていく。

また応募時にジャパンショップへの出展、商店建築掲載などの広告宣伝費用面の案内、告知を実施し運営に関わる費用面の問題を解決していく。

他、応募製品数の更なるアップ策は必要だが、賛助会員への誘致活動を含め、賛助企業以外からの募集（POYの公開）など、POYの位置づけを高める方法も委員会の中で議論していく。

## 2. ジャパンショップ 2023 への出展

POYに絡む製品の発表の場は今後も必須と捉えており、過去2回出展の中で、本来発生する小間代は無償協力を得ているが、装飾費用は出展賛助企業からの費用負担のみでは賄いきれずこの課題を解決していく。

宣伝効果を含めたリアル公開の場はジャパンショップを基軸とし進めていく。

### ⑦ 空間委員会（委員長：新宮和行）

#### 1. JAPAN SHOP 2023 について

- ・3月1日～4日の日程で無事開催することが出来ました。

2023年度も例年通りの開催が出来る前提で計画を進め、例年より更なる進化した JAPAN SHOP2023を推進します。

#### 2. 年鑑刊行委員会について

- ・「年鑑日本の空間デザイン 2023」について本年度は刊行記念パーティーの実施など、可能な限り集える場所を提供します。

### ⑧ 交流委員会（委員長：折原美紀）

オンラインイベント「世界の今を知ろう。大陸リレー」を更に拡大し、男性も参加できる形で会を重ねて行ければと思います。今年は過去に登場いただいたゲストの方同士のクロストークや男性ゲストもお呼びできればとも考えております。また JCD CYCLE 活動も船場のサステナブル勉強会に JCD 会員も参加させていただき計画で更にこの活動を発展して行こうと思いますし、関東支部のパーティーなどともジョインし、セミナー等の開催もコロナが落ち着いた頃には開催したいと考えております。

## （2）支部統括部

（部長：永井資久）

支部統括部長としての事業計画（小田関東支部長主導）

- ・全国支部活性化計画

本部と連携し、各支部との連絡連携構築、支部会員の増強、支部要望の集約及び実行

（支部長会議議長（東日本）/関東支部長：小田 秀樹）

コロナ禍の為に、Zoom会議が主体になりますが理事会の招集以外に、全国支部長の交流や意見交換の為にリアルの全国支部長会議を開催する。

### ① 北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインの必要性和ネットワークの大切さを JCD の活動を通して広めていこう」

- ・支部の活動が活性化されれば自ずと会員増強につながります。

参加してもらえ声かけや横のつながり、他団体との交流などコロナ禍に負けず  
地方でもデザインを通して地域の活性化を目指していきたいです。

北海道支部総会

【概要】令和3年度活動及び収支報告、令和4年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】令和3年4月 場所、日程未定

運営会議 Zoom にて

【日程】4月、5月、7月、9月、11月、1月、3月予定

Zoomにて開催 全国総会、デザインキャンプ、SODAの件打合せ

令和4年度定時総会

【日程】 5月28日

デザインキャンプ

【日程】 8月

Soda 桑園小学校

【日程】 12月

鍋塾

【日程】 2月

## ② 東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・WITH/AFTER コロナでの活動内容、活動方法の構築
- ・会員、賛助会員が互いに協力できる環境づくりの強化

【主な活動スケジュール】

4月 東北支部役員会

- ・令和4年度活動計画
- ・活動予算案
- ・令和3年度収支報告
- ・Soda 実行委員選定

4月8日～12日

日本空間デザイン賞 東北支部展示会開催（JCD・DSA・SDA 共同開催）

- ・東北工業大学一番町ギャラリー

5月 東北支部定時総会（仙台開催）

- ・地区長会議
- ・通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
- ・JCD60周年記念事業の説明
- ・賛助会員企業、商品PR
- ・勉強会（会員に依るデザイン発表会）
- ・懇親会

7月 東北支部ゴルフコンペ（第3回 利府ゴルフ倶楽部）

- ・懇親会

8月 ビアパーティー開催

- 10月 デザインキャンプ及び賛助会員企業・商品PR会  
1月 Soda ワークショップ説明会  
Soda ワークショップ開催（盛岡市立高松小学校）開催日未定  
・懇親会

③ 関東支部（支部長：小田秀樹）

\* 今期はコロナ禍の中でコロナ対策を十分して、支部活動のリアル再開を進めていく。  
（新藤力副支部長、品川正之副支部長）

■ 研究セミナー：委員会（福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長）

- 1) 5月「とくトーク」は現場視察ツアーを開催予定
- 2) 8月・11月・2023年3月「とくトーク」を賛助会員と共同開催を予定

■ 支部賛助委員会（品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、本間克典副委員長）

- 1) 原則月1回の委員会を開催し、下記の掲載の活動目標の推進を図る。
- 2) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
  - 正会員の委員会への参加要請、本部賛助委員会、Soda 委員会への協力など
  - 本部賛助委員会及び関東支部・賛助委員会のあり方を検討する。
- 3) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等を企画する。
  - とくトーク、ノレンカイの開催について研究セミナー委員会と協議検討をする。
  - ノレンカイとしてユーチューブチャンネルの充実を図る。現在9社参加
- 4) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。
- 5) 可能であれば交流を促進するための恒例の親睦イベント（熱海船上花火大会、BBQ大会、ボウリング大会など）を企画する。
- 6) 関東支部の他委員会と連携して、支部のイベントのサポートにあたる。

■ 広報委員会（古川紳太委員長）

- 1) 今期も関東支部・機関誌を3刊発行予定。一回目（7月末発行）総会特集・とくトーク  
・プロダクトアワード・SODA 委員会報告・研修旅行報告・新人会員紹介など
- 2) 二回目 夏／秋号（11月中発行）・とくトーク・会員の近況・クラブ活動報告・新人  
会員紹介・夏のパーティー報告・SODA 委員会報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介など
- 3) 三回目 冬／春号（3月中発行）・とくトーク・会員の近況・冬のパーティー報告  
・新人会員紹介・SODA 委員会報告・賛助委員広告枠など

■ メディア委員会（水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長）

- 1) トップページの画像に変化を持たせるなどホームページの鮮度を保っていき正会員の  
HP掲載数を増やし、関東支部のイベント広報をおこなう。
- 2) 賛助会員企業の建材・素材・技術を採用した「施工例」のページを増やし、賛助会員企業  
の認知度アップに貢献する。
- 3) 上記のコンテンツを「JCD関東支部 Face book」から「JCD関東支部ホームページ」への  
誘導へ役立てる。
- 4) JCD本部の広報委員会と連動をおこない、JCD関東支部の認知度の向上を図る。

■ 交流委員会（折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦副委員長）

1) JCD CYCLE 活動にちなんだ「船場」のサステナブル勉強会への参加(本部事業と重複します)

2) 交流パーティーはコロナ禍の状況を判断して開催したい。

(正会員メンバーVS 所属スタッフとの対談(若手会員増強の一步に JCD に触れてもらう目的)(JCD CYCLE を考えるゲストのトークイベントなど)

3) 各支部との交流

■特別委員会(星明臣委員長、木村倫香副委員長)

当委員会の役割は、主に研修旅行などの企画・実行です。現時点では、通年を見渡せる状況ではありません。コロナ禍の状況に応じて皆さんの意向もお聞きしながら実施に向けて検討したいと思います。

④ 北陸支部(支部長:木村嘉秀)

支部運営方針

空間デザインを起点に地方の抱える社会問題解決に助力し、デザイン団体としての認知をあげる。

北陸地方は自治体が地方創生に注力しています。活動している市民団体も多いです。

令和3年2月に行った空間デザインフォーラムにて「地域コミュニティスペース」を題材にしましたところ、大変多くの反響を頂き、富山県議会議員や富山市未来共創会議さんからもお声を掛けて頂き、何かできないか?ミーティングの場が設けられました。

元々、富山はグラフィックデザインが盛んで、そういう場にデザイナーが絡む事には抵抗が少ないと感じます。社会貢献に繋がる活動が出来れば、店舗デザイナーの認知もあがり JCD の認知も上がるかと思われます。インターン含めて一般の方、学生への周知活動を進めます。また正会員、賛助会員の増強も進めます。

活動予定

令和4年度

3月26日 60周年記念事業トークセッション「デザイングローカル」開催

パネラー 井上愛之氏 丹羽浩之氏 種昂哲氏(北陸)

4月下旬 北陸支部総会

6月下旬 支部会議

8月上旬 5DAYS 合同インターンシップ

9月上旬 支部会議

12月上旬 支部会議

令和4年

1月下旬 新年会

2月上旬 空間デザインフォーラム(石川)

3月上旬 委員長会議

⑤ 中部支部(支部長:鳥居佳則)

はじめに

今期は60周年の記念「TALK SESSION 2022」を経て年代別のカテゴリーによるクロストークに価値を見出し定期的に小規模でのクロストークを開催したいと企画しています。

その企画により次に続く若いデザイナー達にJCDの存在を改めてして認識してもらい時代の流れやデザインに対する思いを引き継いで行けたらと考えています。

また、その活動が増員に繋がることを期待します。

4月 支部会議 (Zoom)

- ・第1回小規模トークセッション計画について

5月 支部会議 (Zoom)

- ・第1回小規模トークセッション計画について
- ・支部総会準備

6月 第1回小規模トークセッション開催予定

8月 中部総会開催予定

9月 支部会議 (リアル) 予定

- ・第2回小規模トークセッション計画について
- ・中部商空間賞について

10月 「中部商空間賞」一般部門、学生部門 応募開始

11月 第2回小規模トークセッション開催予定

本部理事会出席予定

12月 支部忘年会開催予定

1月 支部会議(リアル)予定

- ・第3回小規模トークセッション計画について
- ・デザイントリプレックス19について

2月 デザイントリプレックス19開催

「中部商空間賞」一般部門、学生部門 表彰式開催

#### ⑥ 関西支部 (支部長: 中村裕輔)

■USD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み

■関西支部・各員会の合同委員会の実施

■機関紙「JCD kansai」の発刊

4月～5月

・60<sup>TH</sup> 関西支部セミナー & 懇親会

「そもそも大阪デザインてなんやねん？」

大阪デザインを紐解きながら地方のエリアデザインを」模索する。

・UR 都市機構とのタイアップ SODA 事業

吹田の青山団地「わくわくフェア」への参画

9月 オータムセミナー 「SDGs とデザインの行方 vol.3」 & ワインパーティ

内容協議中

11月 関西学生シンポジウムへの参加

USD-0 主催

## 12月 クリスマスイベント&賛助会員新商品発表会

内容協議中

## 1月 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

JCD賞の表彰

## 2月 修成建設専門学校 教育課程編成委員会（卒計審査）への参加

### ⑦ 中国支部（支部長：藤坂浩匡）

中国支部の活動方針は「全国の JCD メンバーとの交流から商空間デザインのレベルアップへ」をテーマに活動します。コロナ禍で延期になっている 60th 記念式典・祝賀パーティー、北海道での定時総会へ中国支部メンバーで積極的に参加し全国の JCD メンバーとの交流で刺激を得たいと考えています。その中で仕事に対する多種多様な刺激を得て商空間デザインへの創出へ繋げてまいります。その活動が「若手正会員の増強」へ繋がり、地域へ JCD ブランドの発信を行うと共に支部内部の活性化にも繋げたいと思います。

#### 4年度事業内容

● 組織改革・若手正会員の増強、賛助会員との連携強化、全国メンバーとの交流

● 例会活動・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。

親睦活動などに加え、正会員の近況報告にて賛助会員へ有意義な情報を発信する。

また、賛助会員によるミニセミナーと親睦懇親会の開催。

令和4年4月22日 中国支部総会及び第1回例会

[前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表]（岡山）

令和4年6月24日 第2回中国支部例会&ミニセミナー（福山）

令和4年8月19日 第3回中国支部例会&ビアパーティー（広島）

令和4年10月14日 第4回中国支部例会&ミニセミナー（岡山）

令和4年12月16日 第5回中国支部例会&大忘年会（福山）

令和4年2月17日 第6回中国支部例会&デザイン交流会・鍋塾（未定）

● デザイン研修

11月 デザイン研修旅行（未定）

● 地域活動

令和5年1月14日～15日「第17回 JCD 中国支部デザインデイズ IN 岡山」

本年度は岡山開催を試み、新たな大学との交流を図り、次世代の若手育成と

JCD ブランドの発信へ繋がる様、岡山にて開催します。

学生デザインデイズ・JCD 中国支部商空間デザイン賞・日本商空間デザイン賞展示

他支部よりゲストを招いて基調講演を開催し、交流を経て JCD 活動の充実を図ります。

### ⑧ 四国支部（支部長：日下大祐）

1. 60周年事業イベントを実施する支部例会

2. 賛助会員の増強を目指す。

3. 他団体、賛助会員と連携にてコラボ企画等にて魅力の有る会を目指す。

4. 女性会員が集まりやすい環境を目指し支部の魅力を上げる

5. 地元四国の次世代が参加しやすい環境づくりと育成をめざす。

6. 上記にて正会員、支部会員現あわせて30名以上、最終的には定款正会員20名以上を目指す。

事業予定

- 4月、支部例会
  - 60周年事業イベント（四国デザインフュージョン）開催
- 5月、定時総会
  - 60周年事業トークイベント（四国デザインフュージョン）開催
- 6月、支部例会予定
- 8月、支部例会開催予定
- 9月、支部委員長会
- 11月、支部例会予定
  - 四国デザインフュージョン実行委員会
- 12月、他団体交流例会開催予定
  - 四国デザインフュージョン実行委員会予定
- 1月、賀詞交歓会
  - 四国デザインフュージョン実行委員会予定
- 2月、支部例会予定
- 3月、四国デザインフュージョン実行委員会開催予定
- 4月、お花見イベント開催予定支部例会

⑨ 九州支部（支部長：深町俊彦）

九州支部は、現在は ZOOM での開催が多い中ではありますが、月一の定例会を継続して行なっています。NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などへの参加を行っていき、知名度拡大と会員増強に力を入れていきます。

昨年度は、JCD 60 周年記念事業の取組みとしてトークイベント・ワークショップを行いました。60 周年記念事業のためだけでなく、九州支部の新たな事業活動の柱を創るべく定例会を中心に引き続き、協議を行ってまいります。

又、日本空間デザイン賞パネル展の充実を図る為、他団体との協調を図っていきます。

SODA 事業と少し趣を変えた支部ならではのデザインスクールキャラバンの早期開催を目指し、魅力ある九州支部づくりを行なっています。

支部例会も、正会員と賛助会員の大きなコミュのケーションを図る場として、大変有効に活用されていますので、今後も毎月の開催を基本に行ってまいります。

以下予定活動（コロナ禍収束を見据えて）

「一年を通して、九州支部の進化と深化を図る協議を継続します。」

- (1) 4月～毎月 月例会開催（各種セミナー・勉強会・懇親会）
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (3) 6月 支部レクリエーション開催
- (4) 7月 ビアパーティ開催
- (6) 10月 出前授業ワークショップの開催
- (7) 11月 日本空間デザイン賞パネル展の開催  
(九州支部としてトークイベントを検討中)
- (8) 12月 九州支部忘年会開催
- (9) 1月 九州支部新年会開催

⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

■R4年度の活動について

1. コロナの影響も春先からは軽減されていく事を祈り、各イベントが行えるよう準備は整えながら引き続きJCDの認知度UPを目指します。
2. 賛助会員との交流を深め一体感ある支部を目指します。
3. SODAについてもコロナ次第ではありますが、何とか1校でも開催できるようになればと願いながらSODA委員会から学校へのアプローチもできる範囲で行って参ります。
4. JCD 沖縄 空間デザイン賞 2021のパネル展を開催し、正会員の獲得へも繋げられるようにできればと考えております。

■主な活動計画

- 1) 4～6月
  - ・支部定例会の開催（4月・6月）
  - ・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC協会 他）・・・未定
  - ・賛助委員会主催の工場見学・懇親会等の計画～開催。
  - ・JCD 沖縄 空間デザイン賞 2021 パネル展の開催。
- 2) 7～9月
  - ・支部定例会の開催（8月）
  - ・JCD CREATERS BEACH BBQ 2021 開催・・・夏前までに開催の判断。
  - ・JCD 沖縄支部 正・賛助会員パネル展を開催（8月）
- 3) 10～12月
  - ・支部定例会の開催（10月・12月）
  - ・トータルリビングショーへの共同参加・・・未定  
（例年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り）
  - ・JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2022」開催  
（建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って。）
- 4) 1～3月
  - ・支部定例会の開催（2月）
  - ・SODA（ワークショップ）の開催。

（3）総務部（部長：太細 通）

① 財務委員会（委員長：太細 通）

令和4年度予算は、事業活動収入5,456万円、事業活動支出5,358万円で、98万円（収入比率1.8%）の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が73万円の黒字、10支部のうち北海道支部だけが若干の赤字ですが10支部合計では25万円の黒字の収支予算です。

昨年度は、本部が設立60周年記念事業として、式典、講演会、祝賀会の開催、記念誌の発行等で274万円の赤字予算でしたが、本部事業を終えたため黒字予算になります。支部の記念セミナーも7支部は完了しましたが、コロナ禍のため3支部は今年度の開催になり、本部から各20万円の支援をおこないます。

また本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

科目別に述べますと、事業活動収入において会費収入は昨年度予算とほぼ同じ 3,242 万円。事業収入は昨年度予算に比べ 300 万円強の減予算としています。その主な理由は、前述しました 60 周年記念事業が終えたので、その際の協賛金や参加料がなくなったためです。

事業活動支出においては、昨年度予算より合計 700 万円弱の減となります。これも先ほど述べました 60 周年記念事業費の 1,200 万円がなくなったのが主たる理由になります。しかし企業奨励費を Japan Shop での展示を継続のため 330 万円増、定時総会のリアル実施予定で 200 万円増を見込んだためにその差額の減となりました。

結果、収支差額は 98 万円の黒字で昨年度の赤字予算より 340 万円の大幅な増になります。

また以前は年々増加していました会費収入が昨年と比べ若干の増の状態です。

基本的に会費が事業活動の主たる源泉ですので、今後も更なる会員増強を図り会費収入の増を図らないかぎりはこのからの大きな事業活動は望めません。昨年度同様会員増のためには本部、支部とも留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

## ② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCD への社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。

肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、寒川評議員、金沢評議員、鹿目正会員、星の 8 名で構成されています。

## 3. その他会務に関する事項

### (1) 功労賞表彰

令和 4 年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

該当者なし

支部功労賞受賞者

香川 眞二氏（四国支部）

### (2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、一般社団法人日本空間デザイン協会との協働事業である日本空間デザイン賞の推進、また新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通じ積極的かつ実のある活動を目指す。